

国	内	県	内
3日	法人設備投資、3期連続増加 財務省は、2013年10～12月期法人企業統計で金融・保険業を除く設備投資は9兆4,393億円と発表。	1日	「道の駅えびの」来場者50万人突破 えびの市の「道の駅えびの」は、2013年4月オープン以来11カ月で来場者50万人を突破。
7日	1月景気動向指数、7カ月連続改善 内閣府は、1月の景気動向指数で景気の現状を示す一致指数が前月比2.5P上昇の114.8と発表。	3日	県、P E D被害農家に低利資金適用を表明 県は、豚流行性下痢(P E D)の被害農家に対し「経済変動・伝染病等対策資金」の適用を表明。
7日	大阪「あべのハルカス」全面開業 高さ日本一のビル「あべのハルカス」(大阪市)が全面開業。年間4,740万人の来館を見込む。	5日	2月の県内企業倒産5件 帝国データバンクは、2月の県内企業倒産集計で法的整理による倒産件数は5件と発表。
10日	10～12月期G D P改定値は0.7%増 内閣府は、2013年10～12月期G D P改定値が実質で前期比0.2%増、年率換算で0.7%増と発表。	6日	県など7機関、農畜産物分析で合意書締結 県など7機関は、農畜産物分析などの技術連携に向け、新組織設立で合意書を締結。
10日	1月国際収支、赤字1兆5,890億円 財務省は、1月国際収支速報で経常収支が過去最大となる1兆5,890億円の赤字と発表。	7日	巨大ヤマメ「みやざきサクラマス」、初出荷 やまめの里漁業生産組合(五ヶ瀬町)は、海で育て巨大化したヤマメ「みやざきサクラマス」を初出荷。
12日	1～3月期大企業景況感、過去最高 財務省は、1～3月期法人企業景気予測調査で大企業全産業のB S Iはプラス12.7と発表。	12日	本県景況、4期連続プラスの20.8 宮崎財務事務所は、1～3月期法人企業景気予測調査で本県B S Iは全産業でプラス20.8と発表。
13日	1月機械受注、前月比13.4%増の8,435億円 内閣府は、1月機械受注統計(季節調整値)で「船舶・電力を除く民需」受注額が8,435億円と発表。	12日	高千穂郷5町村、民泊体験向上で交流会 高千穂郷ツーリズム協会は、高千穂町で民泊受入家庭大交流会を開催。民泊体験の向上を図る。
17日	3月月例経済報告、基調判断据え置く 政府は、3月月例経済報告で景気の基調判断を2カ月連続で「緩やかに回復している」に据え置く。	13日	宮銀、台湾で食品商談会 宮崎銀行は、台湾で「台湾食品商談会」を開催。県内の食品関連企業11社が参加し、売込み。
18日	公示地価、全国約7千カ所で上昇 国土交通省は、2014年1月1日時点の公示地価を発表。地価上昇地点は約7千カ所と大幅増。	15日	綾町に県内2カ所目の人工芝サッカー場完成 綾町の小田爪運動公園に、人工芝サッカー場が完成。キャンプ地としての魅力アップを図る。
18日	今春卒業予定大学生の就職内定率82.9% 厚生労働省などは、2月1日現在の大学生就職内定率が前年同期比1.2P増の82.9%と発表。	16日	東九州道「宮崎ー延岡」間が開通 東九州自動車道「日向ー都農」(20キロ)が開通し、宮崎ー延岡間が開通。移動時間が65分短縮。
19日	2月貿易収支、8,003億円赤字 財務省は、2月貿易統計(速報)で貿易収支が8,003億円の赤字と発表。燃料等の輸入額増が原因。	18日	豪華客船「にっぽん丸」が油津港に入港 「にっぽん丸」が、神戸港から乗船した乗客410人を乗せ日南市の油津港に入港。日南観光を堪能。
25日	14年度太陽光発電買取価格、引下げ 経済産業省は、2014年度太陽光発電買取価格を1kw当り事業者用32円、家庭用37円に決定。	21日	綾町産日向夏、台湾で販売開始 台湾の大手スーパーで、綾町産日向夏ミカン3.6トン販売開始。台湾への輸出は初の試み。
28日	国家戦略特区、6地域指定 政府は、地域限定で規制緩和する国家戦略特区に6地域を指定。国主導で企業の投資拡大目指す。	28日	2月県内求人倍率、0.88倍に改善 宮崎労働局は、2月の有効求人倍率(季節調整値)が前月比0.03P上昇の0.88倍と発表。
31日	年度末株価、7年ぶり高値の1万4,827円 東京株式市場は、日経平均株価終値が1万4,827円83銭と前年度末比20%上昇。	31日	「宮崎ー台北線」週3往復に増便 チャイナエアライン(台湾)は、国際定期便「宮崎ー台北線」を週2往復から3往復に増便。